

新潟市立坂井輪中学校 いじめ防止基本方針

「いじめ」は、「いじめ」を受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格形成に重大な影響を与える。また、生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがある深刻な人権問題でもある。

本校では、文部科学省及び新潟市の基本方針を受け、「いじめ防止対策推進法」をもとに、学校及び学校の教職員の責務（第八条）から、「いじめ」は絶対に許されない行為として、ここに『坂井輪中学校いじめ防止基本方針』を策定する。

I いじめ防止に向けた基本方針

1 目的

「いじめ防止対策推進法」の公布を受け、本校では、すべての生徒がいじめを行わず及び他の生徒に対して行われるいじめを認識しながら、これを放置することがないように、いじめが心身に多大な影響を与えることを生徒が理解できるよう、いじめ防止の啓発活動をはじめ未然防止の対策を総括的かつ効果的に行う。

2 いじめの定義

「いじめ」を「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校（※）に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義すること。「いじめ防止対策推進法」（2013年6月28日法律第71号）※小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（幼稚部を除く。）

いじめの防止等のための対策の基本理念、いじめの禁止、関係者の責務等を定めること。

- 1 学校の設置者及び学校が講ずべき基本的施策として（1）道徳教育等の充実、（2）早期発見のための措置、（3）相談体制の整備、（4）インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進を定めるとともに、国及び地方公共団体が講ずべき基本的施策として（5）いじめの防止等の対策に従事する人材の確保等、（6）調査研究の推進、（7）啓発活動について定めること。
- 2 学校は、いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、複数の教職員、心理、福祉等の専門家その他の関係者により構成される組織を置くこと。
- 3 個別のいじめに対して学校が講ずべき措置として（1）いじめの事実確認、（2）いじめを受けた児童生徒又はその保護者に対する支援、（3）いじめを行った児童生徒に対する指導又はその保護者に対する助言について定めるとともに、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときの所轄警察署との連携について定めること。
- 4 懲戒、出席停止制度の適切な運用等その他いじめの防止等に関する措置を定めること。

3 学校及び教職員の責務

「いじめ」が行われず、すべての生徒が安心して学習その他の教育活動に取り組めることができるように、保護者、地域住民、民生児童委員、児童相談所、新潟市教育委員会、新潟西警察署（交番）等の関係機関や民生委員、PTA街頭育成委員等の関係組織と連携を図りながら、学校全体で「いじめ」の未然防止及び早期発見に取り組むとともに、在籍する生徒に対して「いじめ」が疑われる場合、適切かつ迅速にこれに対処する。

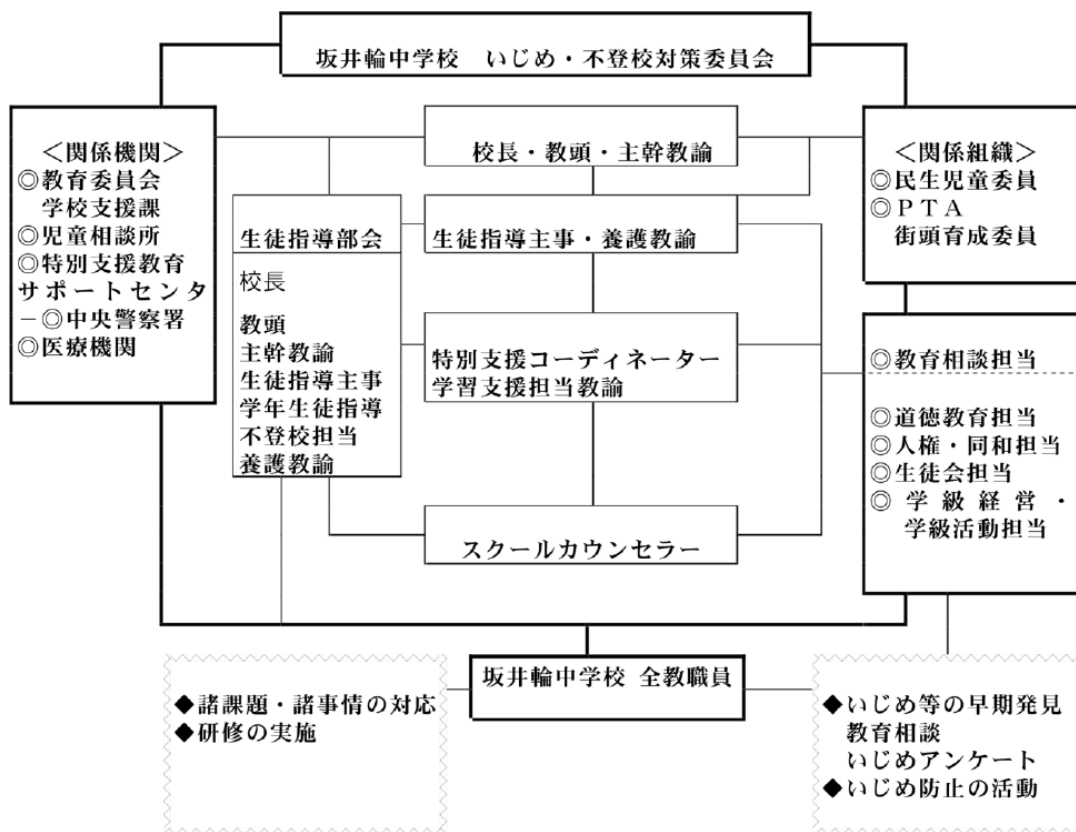
4 対策委員会（組織）について

(1) 組織名『坂井輪中学校いじめ・不登校対策委員会』

(2) 対策委員会の役割

- ① 基本方針に基づく取組の実施、具体的な行動計画の作成、実行、検証、修正
- ② いじめの未然防止の体制の整備及び取組
- ③ いじめの相談・通報の窓口
- ④ いじめの疑いや生徒の問題行動などに関わる情報の収集と記録、共有
- ⑤ いじめを受けた生徒に対する相談及び支援
- ⑥ いじめを受けた生徒の保護者に対する相談及び支援
- ⑦ いじめを行った生徒に対する指導
- ⑧ いじめを行った生徒の保護者に対する助言
- ⑨ 関係機関、専門機関との連携
- ⑩ 教職員研修の実施

(3) 指導体制



(4) 連携のために留意すること

①連絡・報告の徹底

教職員は事実発生又は、注意・配慮を必要とする状況を把握した場合、即時学年生徒指導担当者に報告し、連携・相談体制・指導内容の検討を行う。

②組織的対応

生徒指導主事は報告を受けた事象を管理職（教頭・校長）に報告し、その指導の下に全体で組織体制を整え、必要に応じて関係機関・関係組織との連携推進を行う。

II いじめ防止対策の基本となる事項

基本的な考え方

「いじめ」は生徒の心身に重大な影響を及ぼす深刻な問題で、人間として卑劣な行為であり絶対に許さるべきものではない。その「いじめ」を未然に防止するために、学級、学年、学校など、望ましい集団になるような指導の充実を図り、生徒一人ひとりの自己有用感を高めていく。

また、人間的な触れ合い活動を通して、心の通う対人交流能力の素地を養っていく。

1 いじめに対する基本的な対策

(1) 予防に関すること

- ①いじめを許さない、見逃さない環境（雰囲気）づくりに努める。
- ②教育活動におけるいろいろな場面で、生徒一人ひとりが、自己有用感、自己肯定感を高められるような指導、支援を工夫する。
- ③豊かな道徳心を培うために、道徳・人権教育の充実を図る。
- ④ソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターなどを活用した、心の教育を計画的に実践する。
- ⑤体育祭（集団：異年齢集団）や音楽発表会（集団：学級）などの学校行事を通して、他者との関わりを大切にさせる。
- ⑥「いじめ0スクール」を掲げ、生徒の主体的ないじめ防止活動（啓発活動）を推進していく。
 - ・いじめに関わる、学級や異年齢集団を用いた討議や、全校生徒が参加したパネルディスカッション。
 - ・いじめを題材とした、劇や映像を作成し、全校生徒が考える場面を設定する。
- ⑦通信機器を通じて行われるいじめを防止又は効果的に対処できるように、外部講師を招き、インターネットや携帯電話の情報モラルの講演会を実施する。（年2回）
- ⑧いじめ防止対策に関わる研修を年間計画に位置づけ、職員の資質向上を図る。
- ⑨学校生活での悩みの解消を図るために、スクールカウンセラーを活用する。
- ⑩常に生徒に寄り添い、生徒と教師の信頼関係を構築する。
- ⑪教職員は、「いじめは起こりうるもの」と、常に危機感をもちながら、細心の注意を払いながら教育活動にあたる。
- ⑫学校評価により検証し、必要に応じて基本方針の見直しを行う。

(2) 早期発見に関すること

- ①定期的にアンケート調査（「スマイルアンケート」）や教育相談（5月・11月・2月の年3回）を実施することにより、生徒がいじめを訴えやすい体制を整える。
- ②「私の一日の記録」を活用し、生徒とのレポートづくりや実態把握に努める。
- ③いじめの兆候をいち早く察知するために、日頃から生徒と関わり（傾聴）、生徒との信頼関係を構築する。
- ④昼休み、放課後の時間帯には、各学年のフロアー、トイレ、体育館、グラウンドなど、教職員が連携を図りながら生徒の様子を見守り、「生徒がいるところには、教職員がいる」ことを目指す。
- ⑤養護教諭をはじめ、教科担任、部活動顧問など、いろいろな活動場面で、生徒の気にかかる情報を得た場合、些細なことでも職員間で共有する。（生徒指導情報の共有ランシシステムの活用）
- ⑥保護者との連携を密にし、情報を提供してもらえるような保護者と教職員の信頼関係を構築する。
- ⑦関係機関や地域からの情報を大切にする。

(3) 対応に関すること

- ①いじめが予見又は認知された場合、迅速に適切な初期対応を行う。
- ②常に被害者の立場に立った対応を心がける。
- ③『いじめ防止対策委員会』を中心に、組織的な対応により早期解決を図る。

(4) 連携に関すること

①家庭との連携

- ・PTA活動、保護者懇談会、部活動保護者会などあらゆる場面、機会を利用して、保護者との連携を十分に図る。
- ・学校だより、学校ホームページ等を活用しながら、適切な情報提供に努め、積極的に地域との連携を図る。
- ・子どもの苦しさやストレスに気づくことができるような啓発活動を行う。
- ・子どもの頑張りを認めて褒めること、いけない行為に対しては毅然とした態度でることができるような啓発活動を行う。
- ・ネットモラルの啓発と協力をお願いする。

②地域、関係機関との連携

- ・中学校区の小中連携の「あいさつ運動」を展開し、あいさつを盛り上げることを通して、他者との関わりを大切にする姿勢を養う。
- ・定期的に民生委員の会を開催し、情報提供を受けるとともに、連携を深める
- ・中学校区の四つの小学校（坂井東小学校・新通小学校）と、いじめに関わる事実の提供や情報収集をきめ細かく行い、連携を深める。

2 重大事態が発生した場合

生命・心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや、相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている、あるいは多人数によるいじめが相当期間継続しているなどの重大事案の対応について、以下の対処を行う。

- (1) 重大事態が発生した旨を、新潟市教育委員会に速やかに報告するとともに、必要に応じて専門機関や警察等、関係機関への通報を行い、支援を要請する。『いじめ防止対策委員会』を中心に、事実確認を明確にするための調査を実施する。
- (2) 被害生徒について、いじめの解決が困難な場合又は解決しても登校が困難など、学校生活に著しい支障を来す場合、被害生徒の今後について新潟市教育委員会と協議する。
- (3) 加害生徒について、改善がのぞめず被害生徒の学校生活に著しい支障を来す場合は、加害生徒の今後について新潟市教育委員会と協議する。